

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;"><b>資料組織演習 B</b></p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文 2 回生 教育教福 2 回生          文学部英米 2 回生 人間人社 2 回生          文学部教福 2 回生          文学部文財 2 回生          文学部コミ 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">前川 和子</p>										
<p>授業テーマ</p> <p>資料組織化の方法を演習を通して学ぶ</p>												
<p>授業の概要と目標</p> <p>資料組織論で学んだ、資料の「主題」、「形式」、分類表、などの知識を基礎として、分類、件名の実践的な能力を演習を通して養成する。分類は『日本十進分類法 (NDC) 第9版』、件名は『基本件名標目表 (BSH)』を使用する。</p>												
<p>評価方法</p> <p>演習科目であるので、出席を重視する。期末試験を行う。</p>												
<p>テキスト</p> <p>『資料組織法 第5版』</p>	<p>著者</p> <p>志保田務ほか</p>	<p>出版社</p> <p>第一法規</p>										
<p>参考書</p> <p>『資料組織演習 新訂版』(JLA 図書館情報学テキストシリーズ ; 10)</p>	<p>著者</p> <p>吉田憲一ほか</p>	<p>出版社</p> <p>日本図書館協会</p>										
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>分類演習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『日本十進分類法 (NDC) 新訂9版』の体系、補助表、関連索引</li> <li>2. 「分類規程」の理解</li> <li>3. 「分類規程」の演習</li> <li>4. 各類の理解と演習             <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">0類 総記 (図書館、図書、百科事典など)</td> <td style="width: 50%;">1類 哲学 (哲学、心理学、倫理学、宗教)</td> </tr> <tr> <td>2類 歴史 (歴史、伝記、地理)</td> <td>3類 社会科学 (政治、法律、経済、統計、社会学など)</td> </tr> <tr> <td>4類 自然科学 (数学、物理学、医学など)</td> <td>5類 技術 (工学、工業、家政学など)</td> </tr> <tr> <td>6類 産業 (農林水産業、商業、運輸、通信)</td> <td>7類 芸術 (美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸など)</td> </tr> <tr> <td>8類 言語</td> <td>9類 文学</td> </tr> </table> </li> <li>5. 「図書記号」演習</li> <li>6. 『基本件名標目表 (BSH) 第4版』による「件名標目」演習</li> </ol>			0類 総記 (図書館、図書、百科事典など)	1類 哲学 (哲学、心理学、倫理学、宗教)	2類 歴史 (歴史、伝記、地理)	3類 社会科学 (政治、法律、経済、統計、社会学など)	4類 自然科学 (数学、物理学、医学など)	5類 技術 (工学、工業、家政学など)	6類 産業 (農林水産業、商業、運輸、通信)	7類 芸術 (美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸など)	8類 言語	9類 文学
0類 総記 (図書館、図書、百科事典など)	1類 哲学 (哲学、心理学、倫理学、宗教)											
2類 歴史 (歴史、伝記、地理)	3類 社会科学 (政治、法律、経済、統計、社会学など)											
4類 自然科学 (数学、物理学、医学など)	5類 技術 (工学、工業、家政学など)											
6類 産業 (農林水産業、商業、運輸、通信)	7類 芸術 (美術、音楽、演劇、スポーツ、諸芸など)											
8類 言語	9類 文学											